

# 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める 条例等に基づく排水基準の変更について

(↑千葉の海シンボルカラー「内房の青」「外房の碧」)

- 1 排水基準を定める省令の改正概要
- 2 水質汚濁防止法等の体系
- 3 水質汚濁防止法等に係る排水基準の改正概要
- 4 今後のスケジュール

千葉県環境生活部  
水質保全課



(↓千葉の海シンボルカラー「千葉の空色」)

# 1 排水基準を定める省令※の改正概要

## <改正内容>

	施行前	施行後
項 目	大腸菌群数	大腸菌数
許容限度	日間平均 3,000 個/cm <sup>3</sup>	日間平均 800 CFU/mL

- ・国は、現行の大腸菌群数（3,000個/cm<sup>3</sup>）に相当する大腸菌数は885 CFU/ml程度であるとし、これを切り下げて許容限度を800 CFU/mlとしている。CFU：コロニー形成単位

## <公布日・施行日>

公布：令和6年1月25日      施行：令和7年4月 1日

## <背景>

「大腸菌群数」については、簡便な大腸菌の培養技術が確立されたことを踏まえ、よりの確にふん便汚染を捉えることができる指標である「大腸菌数」に見直された。

※水質汚濁防止法【抜粋】

第三条 排水基準は、排出水の汚染状態（熱によるものを含む。以下同じ。）について、環境省令で定める。

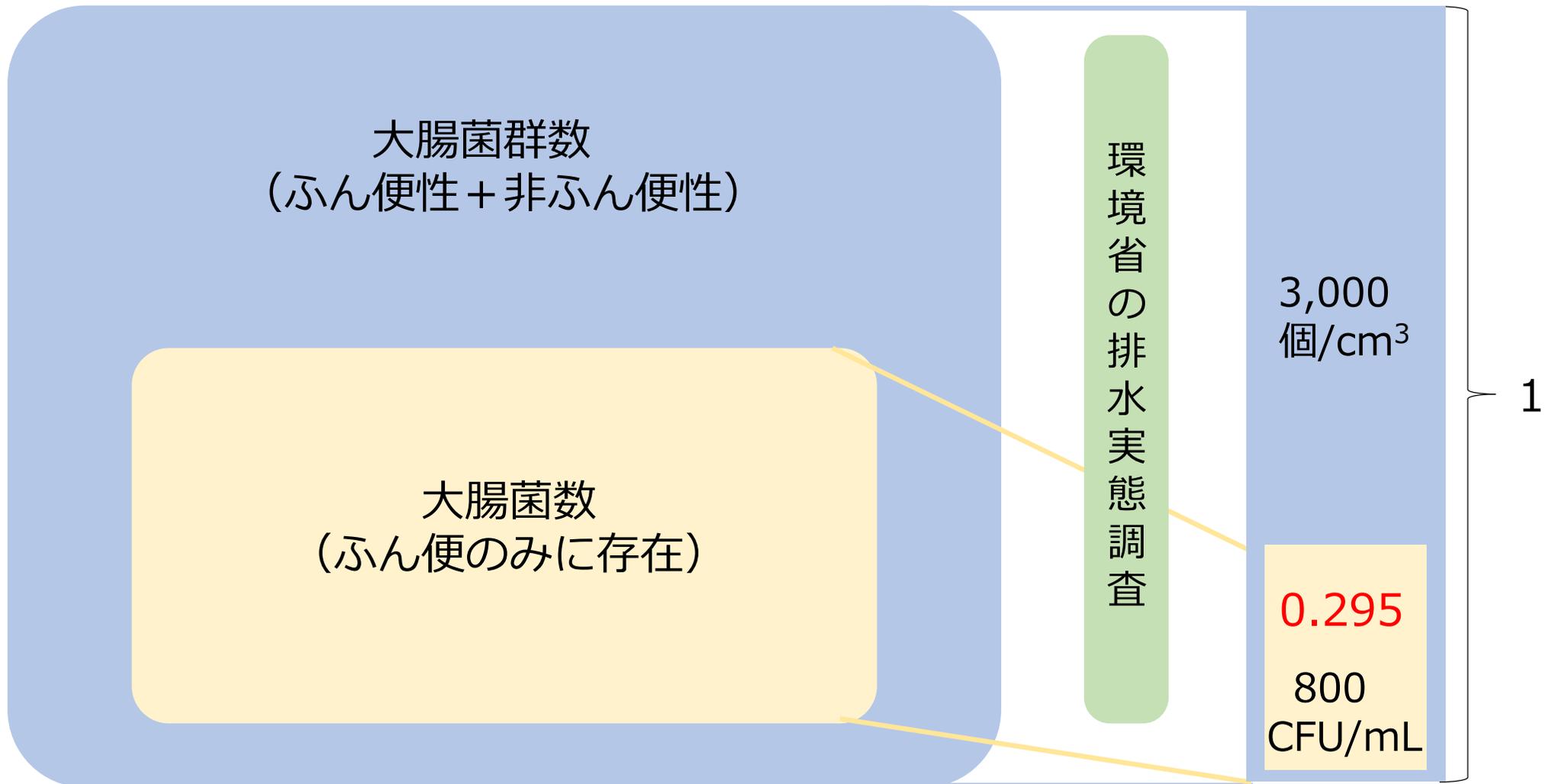
# 大腸菌群数と大腸菌数の関係

- 環境省の調査では、大腸菌群数に対する大腸菌数の存在比は平均**0.295**

※現行の大腸菌群数 (3,000個/cm<sup>3</sup>) に相当する大腸菌数は、存在比(0.295)から885 CFU/ml程度であるとし、これを切り下げて許容限度を800 CFU/mlとしている。

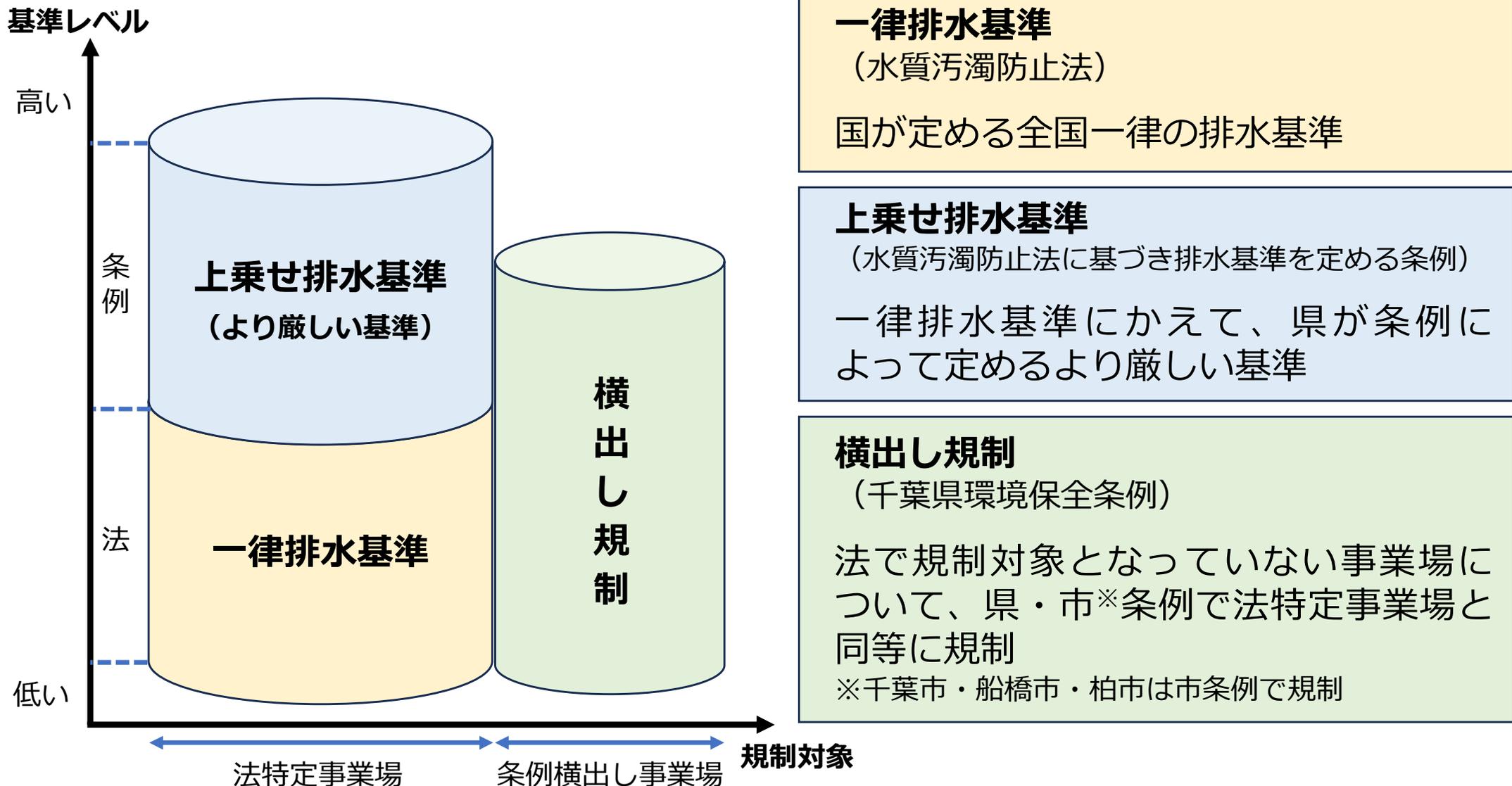
<関係図>

<存在比>



## 2 水質汚濁防止法等の体系

### 水質汚濁防止法等の規制の仕組み（イメージ）



# 水質汚濁防止法等の概要（特定施設）

## 水質汚濁防止法

### 特定施設（第2条）

- ・ 汚水・廃液を排出する施設で政令で定めるもの（101種類）

#### <汚水・廃液>

- ・ 有害物質（水銀、カドミウム 等）
- ・ **生活環境項目**（pH、**大腸菌群数** 等）

水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（上乘せ条例）

### 特定施設（第2条）

- ・ 水質汚濁防止法の特定施設  
※法と同じ

#### <汚水・廃液>

- ・ 法と同じ項目

## 千葉県環境保全条例

### 特定施設（第19条）

- ・ 汚水・廃液を排出する施設で規則で定めるもの（4種類）  
※法より小規模な施設及び横出し施設が対象

#### <特定施設の種類>

- 1 油かんその他のあきかん再生業の用に供する洗浄施設
- 2 ばい煙又は粉じんの湿式処理施設
- 3 畜産農業又はサービス業の用に供する施設  
牛房施設、馬房施設、鶏舎
- 4 特定ちゅう房施設及び  
特定ちゅう房施設の排水処理施設

#### <汚水・廃液>

- ・ 法と同じ項目

# 水質汚濁防止法等の概要（排水基準）

水質汚濁防止法	水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（上乗せ条例）	千葉県環境保全条例
<p><b>排水基準（第3条）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>排水基準を定める省令で排水基準を規定（第1項）【一律基準】</li><li>都道府県は自然的・社会的条件から判断して、条例で、よりきびしい許容限度の排水基準を定めることができることを規定（第3項）【上乗せ基準】</li></ul> <p>&lt;排水基準の適用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>有害物質 排水量にかかわらない</li><li>生活環境項目 日平均排水量50m<sup>3</sup>以上</li></ul>	<p><b>上乗せ基準（第4条）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○法よりきびしい許容限度<ul style="list-style-type: none"><li>・カドミウム0.03mg/L →0.01mg/L 等</li></ul></li><li>○日平均排水量の裾下げ<ul style="list-style-type: none"><li>・全水域：30m<sup>3</sup>以上</li><li>・印旛・手賀沼流域：10m<sup>3</sup>以上</li></ul></li></ul> <p>&lt;規制対象事業場数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○有害物質 約200</li><li>○生活環境項目<ul style="list-style-type: none"><li>・50m<sup>3</sup>以上（法）：約670</li><li>・30m<sup>3</sup>以上50m<sup>3</sup>未満：約190</li><li>・10m<sup>3</sup>以上30m<sup>3</sup>未満：約60</li></ul></li></ul>	<p><b>排水基準（第20条）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○許容限度<ul style="list-style-type: none"><li>・概ね省令に準じる</li></ul></li><li>○日平均排水量の裾下げ<ul style="list-style-type: none"><li>・全水域：30m<sup>3</sup>以上</li><li>・印旛・手賀沼流域：10m<sup>3</sup>以上</li></ul></li></ul>

# 3 水質汚濁防止法等に係る排水基準の改正概要

水質汚濁防止法	水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（上乘せ条例）	千葉県環境保全条例
<p>○<b>現行</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大腸菌群数</li><li>・日間平均3,000個/cm<sup>3</sup></li></ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○<b>改正後（R7.4.1～）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大腸菌数</li><li>・日間平均800CFU/mL</li></ul>	<p>○<b>現行</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大腸菌群数</li><li>・3,000個/cm<sup>3</sup></li></ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○<b>改正案</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大腸菌数</li><li>・800CFU/mL</li></ul>	<p>○<b>現行</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大腸菌群数</li><li>・日間平均3,000個/cm<sup>3</sup></li></ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○<b>改正案</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大腸菌数</li><li>・日間平均800CFU/mL</li></ul>

日間平均：1日の操業時間内において排出水を3回以上測定した結果の平均値

## 4 今後のスケジュール

(令和6年)

・ 12月 公布

- ・ 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例
- ・ 千葉県環境保全条例施行規則

(令和7年)

・ 1～3月 事業者へ周知

・ 4月1日 施行